

東郷村報

第50号

昭和31年2月10日 発行所 宮崎県東臼杵郡 東郷村役場

私達の納税組合

小野田第一組合長 都甲今朝吉

納税は国民の義務であるといふことは百も承知し乍ら戦後は私達の部落も思想の变化と経済の混乱により納税意識は低下した大多數の者が多額の村税滞納を背負ひ昭和二十七年にはいづつは強制執行の段階迄追いこまれたのであります。

私の部落の経済状態は決してよい方ではなく一列として年間飯米保有農家は二、三戸程度にして他は日稼等により生計を維持している現状からしてこの多額の滞納は誠に憂慮すべき事態に直面したのであります。

組合員はこの解決策を協議するため数回に亘つて常会を開き深夜の二時過ぎる頃まで協賛の協議を重ねた結果納税組合の設置に更に新しい分の村税を完納し更に強制執行の段階にある分は役場に納付の処置を願ひ本年度中に完納する計画をたててお互い助け合い努力しようとして協賛はこうとうと協賛はこうとうと協賛はこうとうと協賛はこうとうと

説得力に努力したが遂に一部に組合員が解散を叫ぶ状態に迄立至つた。然し大半の者は電気料金の未納のない原因が直に自分達の生活に影響する為である。村税はより以上に我々の日常生活に直接関係があると反対者を説きまがりなりにも第一年度決算の域に達したが報償金等は望むべくもなく少額といふのであります。引つたのであります。

苦しかつた第一年度を乗り越えてよくこゝ迄きたと組合員に感謝の一つばいでありました。昨年組合常会場の屋根修繕改修と子供遊園地設置の協賛が持ち上つたが資金面でのゆきなやみにある

時と組合員の総意はこの際報償金二万円を工費の一部に使用して設置することを決議し近く完成の域にありとす。記念すべき事業であると共に組合員の団結は我が部落の誇りでもありま

す。昭和三十一年度は更に各方面に一致団結して部落の発展に又村の発展に努力しようとし合う組合員の顔は明るい表情に輝いていま

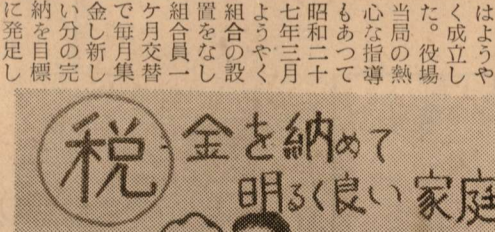
いつまでもたつても決して貯金は出来ません。天引き貯金をして残りの金で暮しを立てる計画と努力こそ貯蓄の秘訣です。 「就職資金に一万円を」 「台所の改善に二万円を」 「結婚の準備金に三万円を」 「子弟の教育資金として五万円を」

者二名、負傷者二十二人で原因は年賀、宴会、結婚式によつばい歩行によるもの四件、子供の路上遊戯七件が主なものとなつて居るが羽坂の事故もこれに含まれて居る。又一月から二月の初めにかけては路面が凍結する事が多い、時速三二軒で走っている乗用自動車に急ブレーキをかける乾燥した

る場合があるし善い、毎えるお小遣が与え方によつては子供の浪費癖の原因にならないとも限らない。保護者は忙し中にもこまかい注意を払いむし新年を機会に規律ある生活を教へ貯蓄心をうえつけるよう呼びかけられたい。

四、自動車練習場の設置について 今私は前項に経管と言葉を使った。役場の配給や戸籍では此の様な言葉は使わす世帯主と言葉が、農業技術者は農家の世帯主を呼ぶ場合合経営主と呼ぶ。此の経営主と言葉は会社の社長を呼ぶ場合等に良く使われる言葉で有つて、或る仕事を経営して居る主人を呼ぶ言葉で有つては言うべきことな言ふ迄もない。

税金を納めて 明るい家庭



納税は国民の義務であるといふことは百も承知し乍ら戦後は私達の部落も思想の变化と経済の混乱により納税意識は低下した大多數の者が多額の村税滞納を背負ひ昭和二十七年にはいづつは強制執行の段階迄追いこまれたのであります。

農協の「積立貯金」のすゝめ

今年こそは、来年度には、... 皆さんはどんな希望や夢をお持ちですか。... 新らしい農具を、... 家畜を、... 電気洗濯器を、... あなたの夢と希望に貯蓄で橋をかけましょう。

議会報告

昭和三十一年初回の定例村議事は二月六日午前十時村会議事堂に招集され会期一日間での議案を審議原案どおり可決確定した。

野火

空に立つ煙のかげに燃え入りて色さびははして昼の野火かも野火の火の遠見はさびしうちわたす枯田のなかの道をゆきつ、 牙えかへり寒けき今日のうらら日に野火の煙の青みたなびく ちりぢりに燃ゆるはさびし鳥羽玉の夜空のやみに見えわたる野火

自然と農業

農業と言ふ言葉は味つて見ても、度いと思う。其の前に吾々農民は、自分の本職で有るべき此の農業と言ふ言葉の意味を、真から味つて見ようと思ひ、事実味つて見た事があるか？と言ふ事を考へて見よう。

政府への米の売渡しを急ぎましょう

昭和三十年産米の政府への売渡し期限は 二月末日迄 となつております。政府への売渡しを急ぎましょう

郷土の「日常語」解明

山又山の日向路の一角、わが低いレベルの山村「東郷」に、はこらかに咲き残る花一つ、その「日常語」の中から拾つた方言雅語の、何と香々はしく多形なところか。茲に斯の、村共有の「宝」の実体を突いて見た

海野実門

活用した「テゴ」の面白さ。 △イリウタカ イロフタカ。 意... 構ふた事か(かまやせぬ) 解... いろふは彩ふ(艶ふ)。 (色を活用す) 彩ふーかかりあふ、たづさる、いぢる、手を尽くす、構ふ)こと で立派な文語。 語尾の「たか」は反語で「...した事か」 「じゃない」 (以下次号につづく)

栄養

「四ツの色」のくみあわせで 栄養は 肉類、魚貝類、大豆卵、トーフ等 骨や歯をつくるもの 牛乳、めざし、にぼし、こんぶ等 体の調子をよくするもの 万葉集の中に雄略天皇が籠を提げた若菜つみの美少女に呼びかけられた御製に「こもよ、みこちち」云々あり。此の古語を

農業経営の方向についての考察

三、計画の樹立方
(1) 隣近所が各自の現在の経営の在方を検討する。
(2) 現在栽培している作物別の栽培面積及び収支の状況を調査する。
(3) 家畜及び家禽の数及び収支の状況を調査する。
(4) 家族の構成及び労働力

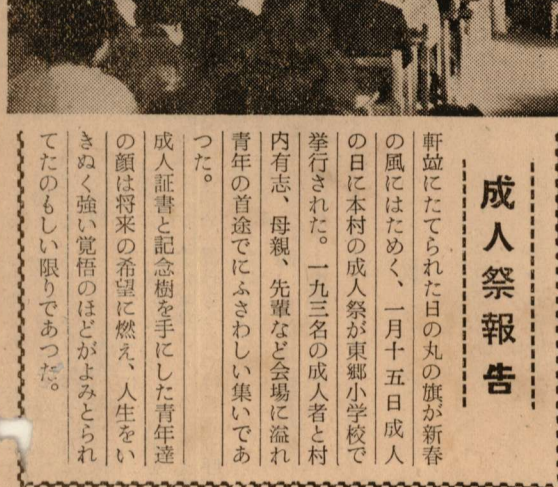
経営改善カード

経営改善カード
昭和年月日 部落名 氏名
家族の構成
耕地の現況
家畜の現況
耕地図

(前項)の調査を基としてその改善点を検討する。
(1) 耕地利用に余剰の有無及時期的に無理の有無。
(2) 家族労働力の時期別過不足。
(3) 現金収入のない時期及少い時期。
(4) 現在使用している耕地以外の農業用の利用が出来るかどうか。
(5) 技術的に見て適作と認められるものを選出。
以上の項目について検討し現在の経営機構の改廃、組合わせの改廃を行い経営を合理化する。この見直しに基づいて新しい換金作物を導入する場合は出来る限り

農家は出来ません。
中堅農家の経営状況の一例
(1) 家族の構成
世帯主夫婦 母子三
人計六人
(2) 耕地の状況
水田四反五畝 畑二反
計六反五畝
(3) 作付の状況
水田四反五畝 麦水田裏
作二反畑一反 計三反
紫雲英一反 甘藷一反
大豆四畝 小豆二畝(混
作) 野菜(夏冬)七畝 豌豆その他二畝
(4) 収穫の状況
水田一反一石八斗 収
穫高八石一斗
自家消費(種子を含む)
六石一斗

政府売渡し二石 価格
二〇、一〇〇円
(1) 麦 裸麦反当一石二斗
収穫高四石四斗 収穫高
小麦反当一石 収穫高
一石
右は何れも自家消費
(2) 大豆反当八斗 収穫高
三斗二升自家消費
(3) 小豆反当四斗 収穫高
八升 自家消費
(4) 甘藷反当四五〇貫 収
穫高四五〇貫
自家消費約二〇〇貫
(5) 他家消費約二〇〇貫
(6) 他家消費は全部自
家消費
(7) その他野菜類は全部自
家消費
(8) 家畜の状況
牝牛一頭 仔牛牝牛一頭
生産二〇、〇〇〇円
で実際農業収入は米代金の
二〇、一〇〇円と甘藷代
金六、二五〇円仔牛代金二
〇、〇〇〇円合計四六、三
七〇円となっている。
外に権利約一五貫位三七、



成人祭報告
軒並にたてられた日の丸の旗が新春の風にはためき、一月十五日成人の日には本村の成人祭が東郷小学校で挙行された。一九三名の成人者と村内有志、母親、先輩など会場に溢れ青年の首途でにふさわしい集いであった。
成人証書と記念樹を手にした青年達の顔は将来の希望に燃え、人生をいさめく強い覚悟のほどがよみとられたのもしい限りであった。

奨学資金貸与申込
本村の奨学金の貸与は昭和二十六年からはじめましたので本年で六年になります。毎年約三十名内外の学生がこの恩恵に浴するのですがこの制度がうまく運営されています。
(1) 奨学資金一、五〇〇円
(2) DDT乳剤パラチオン
銅製剤 セレサン石灰
(3) 小農具諸材料種苗費等
二、一五〇円 合計一

Table with columns for '農業収入' (Agricultural Income) and '農業支出' (Agricultural Expenses). It includes sub-sections for '農業外収入' (Non-agricultural Income) and '農業外支出' (Non-agricultural Expenses).

NHK宮崎放送局の農事番組
2月分 早起鳥 5.50~6.00
10 金 半促成南瓜の定植 農務課
11 土 メチカの一本釣漁業 水産課
12 日 苗木の選び方このような菜種には注意しましょう 林政課 農試
13 月 石灰ワラの作り方 農務課
14 火 桑の植えつけ後の手入れ 蚕試 松浦
15 水 水稻の早生品種農林17号について 農試
16 木 杉苗の仕立て方 早畑甘藷の伏込はこうして 林政課 農試
17 金 半促成胡瓜の定植 農試
18 土 漁連だより 漁連
19 日 甘蘭の共同出荷販売 経連 桑原
20 月 春まき白菜の種子まき 農務課
21 火 春の植林 林政課 黒木
22 水 中継の管理 畜産課 大平益生
23 木 農業全利用協同計算運動 経連
24 金 早熟南瓜の定植の準備 農務課
25 土 漁連だより 漁連
26 日 仔山羊の育て方 畜産課 臼杵直孝
27 月 ①モチトウモロコシの話②麦の収量はこうしてきめる 農試
28 火 春先の病虫害の駆除 (1) 蚕試
29 水 早期栽培の種籾は必ず消毒を 農試

東郷の文藝
短歌
若林 博信
務め終え帰り来りて対ふ君の顔にしづかな安らぎのありなにごとも動勉でありしこの我に望みをかくる君を想へば
「二十九より母は未亡人」と言ふ君に我はしみじみその母を想ふ
老父の背脊疲れてはや寝息立つ
職場にわたたた五分早く着きしのに今朝の出勤は常よりもたのしみ

編集後記
毎年のことだが如月の頃になると「梅一輪はどの暖かさ」の句が心に浮んで来る。立春も過ぎると山の色も水の流れも感じられる。一日一日がすがすがしく寒さもうすらいで千木万草の蘇りを待つには楽しい。
一月余り遅れて田舎の正月が来た。我が国が太陽暦を採用したのは明治の初年であるからもうすでに八十余年が過ぎた今日なお旧暦の正月が行われていることを考えると慣習はなかなか改められな

波紋
若林 博信
「真実は語るべからず」
AからBへ
池の中に投げた小石の波紋
だん／＼大きく広がってゆく
その波紋
お終りに消えて去る
そうだ!!
私は黙つていよう
私の真実な生活が
人にわかる日まで...